

Course number		U-LAS61 10001 LJ14					
Course title (and course title in English)	地球環境学のすすめ Introduction to Global Environmental Studies			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,ASANO SATOSHI Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,SHINJYO HITOSHI Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,MORI AKIHISA Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,TANAKA SHUHEI Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,ONITSUKA KENICHIROU Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,TAKAI ATSUSHI Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,OCHIAI CHIHO Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,YOSHINO AKIRA Graduate School of Global Environmental Studies Associate Professor,YOSHIMI AKIRA Graduate School of Global Environmental Studies Assistant Professor,SUGINAKA MIZUKI Graduate School of Global Environmental Studies Assistant Professor,Yumiko Takemae Graduate School of Global Environmental Studies Professor,SAIZEN IZURU		
Group	Interdisciplinary Sciences		Field(Classification)		Environmental Sciences		
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Thu.1	Target year	All students		Eligible students	For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
多くの関心を集めている地球環境問題に対し、その「解決」を目指す地球環境学の概要を習得することを目指している。地球環境問題を理解し紐解くための文理融合型の幅広い知識を学習し、複眼的な見方から理解を深めることを目的としている。							
[Course objectives]							
地球環境学に関する幅広い知識を得ると共に、文理融合型の学問に対する取り組み方や学習方法について理解する。							
[Course schedule and contents)]							
以下の3つの主題に関する内容をリレー形式で概説する。詳細な講義日程、各回の講義内容などについては、初回の講義において日程表を配付する。地球環境学堂に所属する教員の研究や視点を通して、「地球環境学」の必要性、課題、アプローチの方法等について概説する。全講義を通して、幹事担当の教員が参加し、各回の講義担当の教員との議論も含めながら進行する。							
I．問題設定の枠組みを考える II．環境変化に対応する							
<div>Continue to 地球環境学のすすめ(2)</div>							

地球環境学のすすめ(2)

III. 自然災害に適応する

講義内容（変更の可能性あり，初回講義にて確認すること）

第1回ガイダンス・地球環境学序論（浅野）

第2回砂漠化問題に対する地球環境学的アプローチ（真常・浅野）

第3回脱炭素経済への移行（森・浅野）

第4回微生物の力：地球を支える微小な生き物たち（吉見・浅野）

第5回新規有機化合物の有用性と危険性（田中（周）・浅野）

第6回里地・里山保全とガバナンス：誰がどう守るのか（鬼塚・浅野）

第7回社会基盤整備と環境保全（高井・浅野）

第8回持続可能な社会への移行に向けた国際的な取り組み（竹前・浅野）

第9回安全と安心の間 - リスクコミュニケーションを考える（吉野・浅野）

第10回生物多様性の重要性と保全のための取り組み（浅野）

第11回地域防災と伝統知・地域知（落合・浅野）

第12回建築から考える暮らしと環境（杉中・浅野）

第13回遊牧文化と草原の持続性（西前・浅野）

第14回総合討論（全員）

フィードバック（方法は別途連絡します）（浅野）

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

講義中に教員がレポート等の課題を課す。提出されたレポート等に基づき、各教員が各回の得点を決定する。ただし、講義によっては「講義への参加度」で評価する場合もある。総合得点(100点満点)によって評価する。なお、講義に出席してもレポート等の課題を提出しなかった場合は欠席として扱い、5回以上欠席した場合は単位を認定しない。

[Textbooks]

京都大学地球環境学堂（編）『地球環境学-複眼的な見方と対応力を学ぶ』（丸善）

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

特に指定しない

（Related URL）

<http://www.ges.kyoto-u.ac.jp/index.html>

[Study outside of class (preparation and review)]

教科書「地球環境学-複眼的な見方と対応力を学ぶ」を事前に学習しておくこと。

[Other information (office hours, etc.)]

文系・理系にとらわれず、広い視野に立って講義する。特定の専門に特化した知識は必要なく、初心者にとっても理解しやすい講義を行う。ただし、教科書は必読である。
授業中、わからないことについては積極的な質問を期待する。